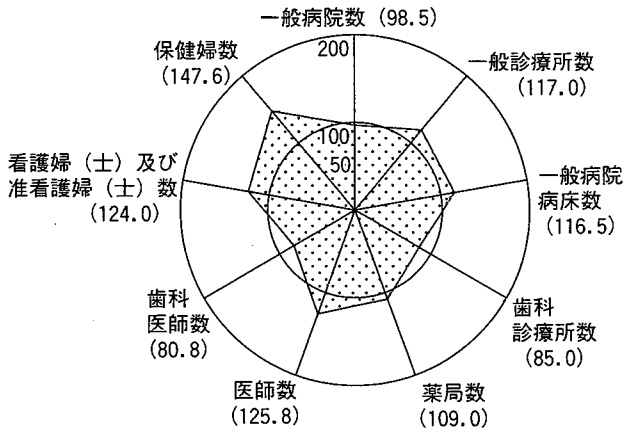


人口10万人当たりの医療体制
総務省統計局「統計でみる県のすがた」



(衛 生)

本県の医療水準は、人口10万人当たりで見ると、医師数、保健婦数などで全国水準を上回っています。

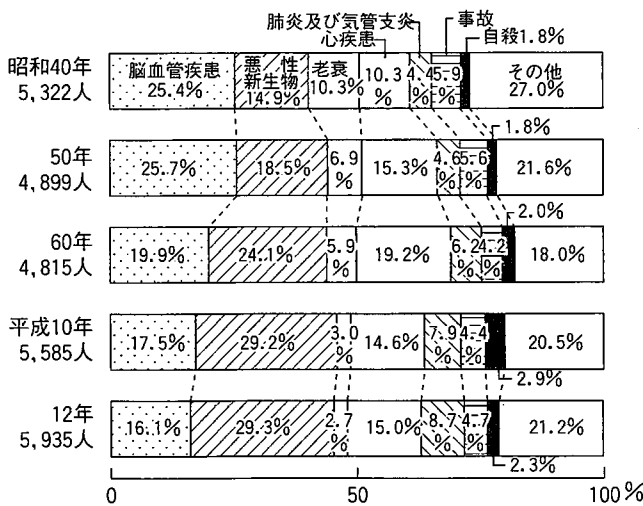
平成12年中の死亡数は5,935人で前年に比べ84人増加しています。内訳は、三大死因（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）で、全体の60.4%を占めています。

また、三大死因別死亡数の推移を見ると、悪性新生物は1,741人、心疾患は891人、脳血管疾患は956人となり、合計で53人の増加になりました。

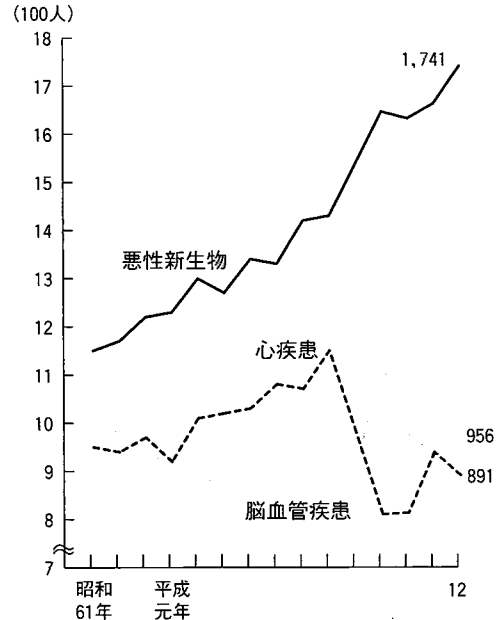
指標名	鳥取県	順位	全国	年次
平均寿命(男)	76.09歳	42	76.70	7
平均寿命(女)	83.59歳	14	83.22	7
医師数(人口10万人当たり)	243.3人	5	191.6	12
保健婦(士)数()	41.4人	10	29.0	12

死因別死亡数の割合

県福祉保健課



三大死因別死亡数の推移



単位：施設・床・所・人

医療施設等の状況

県医務薬事課

年次	病院数	診療所	病床数		歯科診療所	薬局	医師	歯科医師	看護婦(士)及び 准看護婦(士)	保健婦
			病院	診療所						
平成8年	42	518	8,629	1,686	241	206	1,526	335	5,752	233
9	44	518	8,631	1,672	245	214	—	—	—	—
10	44	508	8,773	1,627	253	232	1,449	336	6,113	248
11	44	519	8,741	1,511	257	239	—	—	—	—
12	46	538	9,105	1,486	271	243	1,574	337	6,509	254

(注) 医師、歯科医師、看護婦(士)及び准看護婦(士)、保健婦については隔年調査